

小学校4年生通常学級における「要支援児と周囲児とのかかわり」「情緒障害」に関する調査

この度は調査へのご協力ありがとうございます。

この調査では、『クラス内の要支援児へのおの周囲児の理解とかかわり(調査 A)』、『通常級に在籍する情緒不安のある児童について(調査 B)』についてお伺いします。本調査は統計処理をするため、学校名や個人が特定・公表されることは一切ありません。また、結果につきましても、学術的な目的以外に使用いたしません。それぞれの質問をよく読み、該当する記号に○印、または空欄に必要事項を記入してお答えください。 東京学芸大学・橋本創一

【ご回答される先生について】

- (1) 勤務年数(非常勤歴を含む) _____年 (2) 現在担任している学年 _____年
 (3) クラスの児童生徒数 _____名

調査 A クラス内の要支援児への周囲児の理解とかかわりについて

この調査は、外国にルーツがある・身体障害/発達障害児・登校しぶり児とその周囲児の相互理解と支援について調べることを目的としています。

【I. クラスに在籍する特別な支援が必要な児童について】

問 1 **外国にルーツがあること**で、学校不応適が生じて支援を行っている児童がクラスに在籍していますか？

- ①はい ②いいえ ③その他〔 _____ 〕

問 2 **身体障害があり**、それにかかわる支援を行っている児童がクラスに在籍していますか？

- ①はい ②いいえ ③その他〔 _____ 〕

問 3 **不登校・登校しぶり・欠席が多く、クラスで居場所を見つけることに困難さ**を抱える児童がクラスに在籍していますか？

- ①はい ②いいえ ③その他〔 _____ 〕

問 4 **発達障害の診断、またはその可能性があり**、それにかかわる支援を行っている児童がクラスに在籍していますか？

- ①はい ②いいえ ③その他〔 _____ 〕

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

問 1～4で『①はい(いる)』と回答された方は、各々に対応するⅡ～Ⅴの質問にお答え下さい。

恐れ入りますが、問 1～4で複数に『①はい』と回答された方は、該当する全てについて回答をお願いします。

全てについて、②いいえ(いない)と回答された方は、調査 Bにお進みください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

外国にルーツがある児童の支援

- ②学習活動での話し合い
- ③給食や掃除、係活動など、児童が協力し合うような活動
- ④学校行事など、クラス全体での特別活動
- ⑤休み時間、遊びやレクリエーション
- ⑥学校生活でのあらゆる場面
- ⑦その他〔 〕

(6) (5)の中で、どの活動が児童間理解や関わりを深めていくために大切であり、行っていきたいと考えますか？

(今後行っていきたいこと、複数回答可)

- ①対象児が学習活動で困難を抱えたときのサポート
- ②学習活動での話し合い
- ③給食や掃除、係活動など、児童が協力し合うような活動
- ④学校行事など、クラス全体での特別活動
- ⑤休み時間、遊びやレクリエーション
- ⑥学校生活でのあらゆる場面
- ⑦その他〔 〕

(7) (6)で選択した活動が、大切であり、今後行っていきたいと考えた理由を教えてください。

〔 〕

身体障害のある児童の支援

【Ⅲ. 身体障害があり、それにかかわる支援を行っている児童や周囲の児童、クラスについて】

※身体障害がある児童が複数いる場合は、お一人について想起しお答えください。

(1) 対象児(身体障害のある児童)を周囲が理解するための理解教育などを行っていますか？

- ①対象児の特性や具体的な支援などについて、周囲の児童に説明している
- ②対象児への教員の対応の仕方を、周囲の児童にも伝わるように見せたり、対象児との関わり方を教えたりしている
- ③対象児の良さや努力、成長などを、クラス全体で共有するようにしている
- ④対象児にとどまらず、様々な多様性、マイノリティ理解教育(絵本や映像などを用いて、多様性の理解を促す、当事者からお話を聞くなど)を行っている
- ⑤道徳教育などを通して、助け合いや思いやりについて考える機会を設けている
- ⑥その他〔 〕

(2) 授業中や学校生活で、クラスの児童は対象児(身体障害のある児童)へサポートや関わりを行っていますか？

- ①クラス全体の児童がサポートしている
- ②クラスの半数ほどの児童がサポートしている
- ③対象児と関わることの多い児童(グループが同じ、席が近いなど)がサポートしている
- ④特定の児童(対象児との交流が多く、仲が良い)がサポートしている
- ⑤ほとんどの児童がサポートしていない
- ⑥サポートする必要性を感じない
- ⑦その他〔 〕

※(2)について、①～④、⑦と回答された方は、(4)～(8)の回答をお願いします。

⑤～⑥と回答された方は、(3)の質問へお進みください。

サポートしていない／必要がない

(3) 周囲の児童のサポートがほとんど行われていない、その必要がないと回答された方にお聞きます。

その状況の要因やサポートの必要がないとお考えの理由を教えてください。

{

}

サポートしている

(4) (3)のように周囲の**児童の理解やサポートの状況が積極的である要因**は、次のうちどれに当てはまりますか？

- ①教員が児童に関する説明や理解教育を実践
- ②教員が児童に対象児との関わりやサポートを促す
- ③児童同士の仲の良さ
- ④席の近さや同じ班での活動や会話など、学校生活での関わり
- ⑤クラスの児童が、対象児に積極的に関わり、サポートする
- ⑥対象児が、周囲に援助要請する
- ⑦その他（クラスの雰囲気、対象児の個性や性格など）{

}

(5) クラスの児童は、対象児（身体障害のある児童）へどのような場面でサポートを行っていますか？

（現在行われていること、複数回答可）

- ①対象児が学習活動で困難を抱えたときのサポート
- ②学習活動での話し合い
- ③給食や掃除、係活動など、児童が協力し合うような活動
- ④学校行事など、クラス全体での特別活動
- ⑤休み時間、遊びやレクリエーション
- ⑥学校生活でのあらゆる場面
- ⑦その他{

}

(6) (5)の中で、どの活動が児童間理解や関わりを深めていくために大切であり、行っていきたいと考えますか？

（今後行っていきたいこと、複数回答可）

- ①対象児が学習活動で困難を抱えたときのサポート
- ②学習活動での話し合い
- ③給食や掃除、係活動など、児童が協力し合うような活動
- ④学校行事など、クラス全体での特別活動
- ⑤休み時間、遊びやレクリエーション
- ⑥学校生活でのあらゆる場面
- ⑦その他{

}

(7) (6)で選択した活動が、大切であり、**今後行っていきたいと考えた理由**を教えてください。

{

}

不登校・登校しぶり・欠席が多く、クラスで居場所をみつけることに困難を抱える児童の支援

.....

※(2)について、①～④、⑦と回答された方は、(4)～(8)の回答をお願いします。

⑤～⑥と回答された方は、(3)の質問へお進みください。

サポートしていない／必要がない

(3) 周囲の児童のサポートがほとんど行われていない、その必要がないと回答された方にお聞きます。

その状況の要因やサポートの必要がないとお考えの理由を教えてください。

{

}

サポートしている

(4) (3)のように周囲の**児童の理解やサポートの状況が積極的である要因**は、次のうちどれに当てはまりますか？

- ①教員が児童に関する説明や理解教育を実践
- ②教員が児童に対象児との関わりやサポートを促す
- ③児童同士の仲の良さ
- ④席の近さや同じ班での活動や会話など、学校生活での関わり
- ⑤クラスの児童が、対象児に積極的に関わり、サポートする
- ⑥対象児が、周囲に援助要請する
- ⑦その他（クラスの雰囲気、対象児の個性や性格など）{

}

(5) クラスの児童は、対象児（発達障害のある児童）へどのような場面でサポートを行っていますか？

（現在行われていること、複数回答可）

- ①対象児が学習活動で困難を抱えたときのサポート
- ②学習活動での話し合い
- ③給食や掃除、係活動など、児童が協力し合うような活動
- ④学校行事など、クラス全体での特別活動
- ⑤休み時間、遊びやレクリエーション
- ⑥学校生活でのあらゆる場面
- ⑦その他{

}

(6) (5)の中で、どの活動が児童間理解や関わりを深めていくために大切であり、行っていきたいと考えますか？

（今後行っていきたいこと、複数回答可）

- ①対象児が学習活動で困難を抱えたときのサポート
- ②学習活動での話し合い
- ③給食や掃除、係活動など、児童が協力し合うような活動
- ④学校行事など、クラス全体での特別活動
- ⑤休み時間、遊びやレクリエーション
- ⑥学校生活でのあらゆる場面
- ⑦その他{

}

(7) (6)で選択した活動が、大切であり、**今後行っていきたいと考えた理由**を教えてください。

{

}

.....
【VI. **多様な支援を必要とする児童について**】

(1) クラスに多様な支援を必要とするお子さんが、複数いらっしゃる方にお聞きます。

多様な支援や対応について、どのような考えをお持ちですか。悩み、困難さ、クラスや周囲の児童の変化や成長などについて教えてください。

{ _____ }

調査 B 通常級に在籍する情緒不安のある児童について

本調査は、児童の情緒不安について『周囲の環境から受けるストレスによって生じたストレス反応として、状況に合わない心身の状態が持続し、それらを自分の意思ではコントロールできないことが継続している状態がある者（発達障害がある場合もあれば、必ずしも障害とは限らない）』と恣意的に定義し、情緒不安のある児童の支援ニーズについて調査することを目的とします。

問1 貴クラスで**情緒不安のある児童**は何名いますか？

_____ **名**

問2 近年、情緒不安のある児童は通常クラスに増えていると思いますか？ 回答者のお考えで結構ですので○印をつけて下さい。

- ①とても増えている ②やや増えている ③変わらない ④やや減っている ⑤とても減っている
⑥わからない

問3 貴クラスに在籍する『**情緒不安定のある児童**』の中で **1名**を抽出して、その支援ニーズについてお答え下さい。
(情緒不安定のある児童がいない場合は、未記入で結構です)

(X) 本児童は、

(1) 医学的診断の有無 ①あり ②なし ③不明

→①を選んだ場合、診断名をお書き下さい{ _____ }

(2) 服薬の有無 ①服薬している ②服薬していない ③わからない

(3) 学校生活において、具体的にみられる姿（気になる行動や問題など）を以下から選んで○印をつけて下さい
(複数回答可)。

- ①場面かん黙 ②不登校・登校しぶり ③過度の不安（分離不安、虫などの恐怖） ④抑うつ症状や無気力
⑤自傷行為 ⑥かんしゃくや怒りを頻発 ⑦暴力や攻撃的行動 ⑧反抗や暴言 ⑨過度に他者に甘える
⑩身体愁訴（腹痛・頭痛・だるさなどの頻発）を訴える ⑪拒食 ⑫強迫的行動（何度も手を洗うなど）
⑬抜毛・性器いじりを繰り返す ⑭被害妄想を主張 ⑮ゲーム依存 ⑯排尿の失敗を繰り返す
⑰その他 { _____ }

(4) 学校生活において、支援すべきと考えられているニーズ（課題）を以下から選んで○印をつけて下さい
(複数回答可)。

- ①学習面 ②生活面 ③対人関係面 ④運動面 ⑤自己肯定感の低さ ⑥他児とのトラブル
⑦非行・問題行動 ⑧不登校・登校しぶり ⑨孤立・内向的 ⑩その他 { _____ }

(5) 家庭環境に問題を抱えていますか？ ①問題がある ②問題はない ③わからない

→①を選んだ場合、その問題についてお書き下さい{ _____ }

(6) 児童本人の情緒不安があることに関する自己理解についてあてはまるものに○印をつけて下さい。

- ①適切に自己理解ができている ②自己理解はややできていない ③自己理解はできていない ④不明
⑤その他 { _____ }

(7) 保護者や家族において、本児童の子育ての困難さについてあてはまるものに○印をつけて下さい。

- ①大変困っている ②やや困っている ③あまり困っていない ④まったく困っていない ⑤不明

→①②を選んだ場合、具体的な困難さについてお書き下さい{ _____ }

(8) 担任されている先生において、本児童の教育支援の困難さについてあてはまるものに○印をつけて下さい。

①大変困っている ②やや困っている ③あまり困っていない ④まったく困っていない ⑤不明

→①②を選んだ場合、具体的な困難さについてお書き下さい〔

〕

(9) 本児童の教育支援において、問題点や指導上の悩みなどをお書き下さい。

問4 情緒不安定のある児童が通常クラスで増加傾向にあることが指摘されていますが、これまでと違ってきた学校教育の問題点や検討すべき課題について、ご回答されている先生のお考えをお書き下さい。

アンケート項目は以上です。お忙しい中、最後までご協力を頂き、本当にありがとうございました。